

# 記入例（預かり保育利用者用）

**<記入にあたっての注意事項>**

- 記載内容を訂正する場合は、二重線で訂正のうえ、訂正印を押印。  
※印鑑をお持ちでない外国籍の方の場合、サインでも可。  
※修正テープでの訂正不可。
- 消せるボールペン及び鉛筆は使用不可。
- 黒色又は青色のインクで記入。
- 「1 請求額」欄については、訂正印でも訂正不可。

【 ●●年 ●月～ ●●年 ●月分請求用】

子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記のとおり請求します。

なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

- 1 申請者と認定子どもが、つくば市内に居住していることをつくば市が確認すること。
- 2 実際に利用していることをつくば市が対象施設に確認すること。
- 3 利用料の支払い状況をつくば市が対象施設に確認すること。
- 4 市町村民税の情報（同一世帯を含む。）をつくば市が確認すること。

裏面「7」のうち  
**「請求額合計」の額を記入**  
**請求額は訂正不可**

1 請求額（裏面7にて算出した請求額合計を記入してください。）

請求額	★★, ★★★	円
-----	---------	---

**押印もれに注意**

2 施設等利用給付認定保護者（保育者）

フリガナ	ヨウホ ハナコ	生年月日	●●年 ●月 ●日
氏名	幼保 花子	現住所	〒●●-●●●● つくば市●●●1-2-3
	認定子どもとの続柄	電話	●●●(●●●●)●●●●

認定通知に記載の**10桁の数字又は英数字**を記入

認定番号	Y J 1 2 3 4 5 6 7 8	生	新●号認定
●●年●月●日～●●年●月●日の間の住所	〒	氏名	幼保 桃子
<input type="checkbox"/> 現住所のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 転入した <input type="checkbox"/> 転出した	請求対象月の初日から末日を記入		
上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入			

4 振込先(※1)

金融機関名							預金種目 <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座									
金融機関コード	1	2	3	4	支店コード	5	6	7	口座番号	8	9	0	1	2	3	4
●●	●	●	●	●	●●	●	●	●	●●●●●●	●	●	●	●	●	●	●
銀行・信用金庫 農協・信用組合									口座名義(カタカナ) ヨウホ ハナコ							

※1 申請者と口座名義が異なる振込先(支店・出振所)を指定する場合は、委任状を添付

請求者と口座名義が異なる場合には、委任状を添付

5 在籍する幼稚園等

フリガナ	マルマルヨウチエン	所在地	〒 ●●●● - ●●●●
施設名称	●●幼稚園	<input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 ●● (●●●) ●●●●	
●●年●月●日～●●年●月●日の間の在籍状況		<input type="checkbox"/> 期間中在籍 <input checked="" type="checkbox"/> 途中入園した <input type="checkbox"/> 途中退園した	
上記で、途中入園または途中退園した場合はその年月日を記入			

表面の「3 認定子ども」欄と同様に、請求対象月の初日から末日を記入

6 在籍園

フリガナ	所在地
①施設	
在籍している幼稚園・認定こども園の預かり保育事業又は開園日数について、 <b>次のいずれかの場合のみ、認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができます</b> ので、該当する場合はご記入ください。	
・教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満 ・年間（平日・休日・長期休業中の合計）の開園日数が200日未満	
※上記基準は、個人の利用時間及び日数ではなく、施設が実施している時間及び開園日数です。	
※つくば市内の私立幼稚園・認定こども園は、上記のいずれにも該当しません。 （つくば市立幼稚園は該当します。）	
⑤施設	
施設利用開始日	年 月 日

※2 ①～⑤に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載してください。  
 ※3 「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又は年間（平日・長期休業中・休日の合計）開所日数200日未満の場合のみです。

7 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用（※4）における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用	在籍園の預かり保育事業	認可外保育施設	請求額 ※6 （「c+d」もし 額上限額 方を記 す）
●●年			50 円
●●年			●● 円
●●年			100 円
請求額合計			★★,★★★ 円

「請求内訳記入方法」を参照

- <提出の際は、以下の書類を添付してください。>
- 1 領収証
  - 2 特定子ども・子育て支援提供証明書
  - 3 活動報告書（ファミリー・サポート・センター事業利用の場合）
  - 4 委任状（請求者と口座名義人が異なる場合）

# 請求内訳記入方法

「領収証」や「特定子ども・子育て支援提供証明書」をご準備ください。

様式第47号（第36条関係）

「預かり保育事業」

## ① 「利用年月」及び「施設に支払った金額(a)」記入。

ただし、以下【注意】に該当する場合は、日割り計算にて算出した保育料を記入。

7. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用（※4）における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月 (西暦で記入)	在籍園の預かり保育事業			認可外保育施設等に支払った金額(d) ※4 ※5		請求額 ※6 (「c+d」もしくは 月額上限額の低い方 を記入)
	施設に支払った金額(a) ※5	利用 日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の 低い方を記入 (c)	円	
年 月	円	日	円	円	円	円
年 月	円					円
年 月	円					円
						円

記載する料金は保育料のみとし、給食費やおやつ代、日用品代等は含めない。

### 注意



市HPに  
計算シートを  
掲載しています

※次のいずれかに該当する場合には、以下のとおり保育料を算出してください。

I 市町村をまたぐ転出入 があり、転出入前後で同施設を利用している場合

II 利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期など）場合

I 市町村をまたぐ転出入 があり、転出入前後で同施設を利用している

この場合、つくば市民として施設を利用した日数分の保育料を算出します。

計算式：「その月の保育料 × (転出日までの日数 又は 転入先での認定日からの日数) ÷ その月の日数」

例：10日につくば市に転入し、認定を10日から受けた場合（利用料が40,000円、31日までの月の場合）

$$40,000円 \times 22日 \div 31日 = 28,387.09...$$

記載する保育料は、**28,380円**（10円未満切り捨て）

II 利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期など）場合

当該利用料 ÷ 当該期間の月数

例：3か月分10万円の利用料を一度に納める場合

$$100,000円 \div 3か月 = 33,333.33...$$

記載する保育料は、**33,330円**（10円未満の切り捨て）

② 「利用日数」及び「対象額(b)」及び「aとbの金額の低い方(c)」を記入。

7 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※4)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月 (西暦で記入)	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等 に支払った 金額(d) ※4 ※5	請求額 ※6 (「c+d」もしくは 月額上限額の低い方 を記入)
	施設に支払った金 額(a) ※5	利用 日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の 低い方を記入 (c)		
年 月	a 円	日	b 円	円	円	円
年 月	円		円	円	円	円
年 月	円		円	円	円	円
年 月	円		円	円	円	円

対象額 (b) は、「利用日数 × 450円」で計算し、記入。

(a) と (b) のうち、低い方の金額を記入。

③ 「認可外保育施設に支払った金額(d)」については、すでに「認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業」(無償化対象施設に限る)に対し支払っている保育料があり、在籍する幼稚園の預かり保育事業が以下に該当する場合のみ記入。

在籍している幼稚園・認定こども園の預かり保育事業又は開園日数について、次のいずれかの場合のみ、認可外保育施設等の保育料の償還払いを受けることができます。

- 教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満
- 年間(平日・休日・長期休業中の合計)の開園日数が200日未満

※上記基準は、個人の利用時間及び日数ではなく、施設が実施している時間及び開園日数です。

※つくば市立幼稚園は上記基準に該当しますので、認可外保育施設や一時預かり、病児保育事業、ファミリー・サポート・センター事業を利用した場合は、請求に含めることができます。ただし、請求に含める場合は、必ず当該施設の「領収証」及び「特定子ども・子育て支援提供証明書」を添付してください。

※市外の施設においては、該当市町村にお問い合わせください。

7 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※4)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用 (西暦)	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等 に支払った 金額(d) ※4 ※5	請求額 ※6 (「c+d」もしくは 月額上限額の低い方 を記入)
	施設に支払った金 額(a) ※5	利用 日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の 低い方を記入 (c)		
年 月	円	日	円	円	円	円
年 月	円		円	円	円	円
年 月	円		円	円	円	円
年 月	円		円	円	円	円
請求額合計						円

在籍施設の預かり保育事業又は開園日数が上記基準に該当し、認可外保育施設等の保育料を支払っている場合は、記入。

④ 「(d) 月額上限額」を記入。上限額等については、次項を参照。

7 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※4)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月 (西暦で記入)	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等 に支払った 金額(d) ※4 ※5	請求額 ※6 (「c+d」もしくは 月額上限額の低い方 を記入)
	施設に支払った金 額(a) ※5	利用 日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の 低い方を記入 (c)		
年 月	円	日	円	C 円	d 円	円
年 月	円					円
年 月	円					円

「cとdを足した額」と「月額上限額」を比べて低い方の金額を記入。

月額上限額

第2号認定の方 月額上限11,300円

第3号認定の方 月額上限16,300円



ただし、次のいずれかに該当する場合には、以下のとおり月額上限額を算出してください。

I 月の途中で認定期間が終了した場合 又は 別の市町村へ転出した場合

$$11,300(\text{又は}16,300)\text{円} \times \text{その月の転出日までの日数} \div \text{その月の日数}$$

II 月の途中で認定期間が開始される場合 又は 別の市町村から転入した場合

$$11,300(\text{又は}16,300)\text{円} \times \text{その月の転入先での認定日からの日数} \div \text{その月の日数}$$

例：10日につくば市に転入し、認定を10日から受けた場合（31日までの月の場合）

$$11,300\text{円} \times 22\text{日} \div 31\text{日} = 8,019.35\dots$$

記載する月額上限額は、**8,010円**（10円未満切り捨て）

⑤ 「請求額合計」を記入。

7 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※4)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月 (西暦で記入)	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等 に支払った 金額(d) ※4 ※5	請求額 ※6 (「c+d」もしくは 月額上限額の低い方 を記入)
	施設に支払った金 額(a) ※5	利用 日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の 低い方を記入 (c)		
年 月	円	日	円			●● 円
年 月	円	日	円			●● 円
年 月	円	日	円			●● 円
請求額合計						円

各月の請求額の合計を記入。

この金額を、請求書表面の「1 請求額」に記載。